

九州大学法学部  
2010年度前期 定期試験  
法学入門【法学入門Ⅰ】

2010年8月6日（金）13h00～14h30 大講義室

担当教員：南野 森

【注 意】

- 1) 問題は2～3頁に記載している。「始め」の合図があるまで次頁以降の中身を見ないこと。透かすなどしてなんとか見ようとするのは反道徳的である。
- 2) 解答は万年筆・ボールペンを使用すること。鉛筆・シャープペンシルを使用した場合、最大で20点減点する。
- 3) 極端に小さい字・薄い字・乱暴な字等を用いた読みにくい解答は、採点者の心証を著しく悪くする。なるべくはっきりと読みやすい字で書くことを勧める。
- 4) この試験では、筆記用具・時計・書込みのない六法（判例・解説つきでないもの）のみ持込みを認める。今回に限り、マーカーでの線引きや文字囲み程度の書込みを例外的に認めることにするが、その場合でも文字の書込みは認めない。
- 5) 解答用紙が足りなくなった者には追加用紙を配布するので、挙手すること。
- 6) 問題は大問3問からなる。以下の説明に従い、大問ごとに別々の解答用紙を用いること。この指示に従わない答案は、採点しない。
  - 大問1および大問2には、いずれも二つ折り両面刷りの緑色解答用紙を用いること。それぞれの解答用紙表紙の氏名等記載欄の下余白部分に、いずれの大問に対する解答であるのかがわかるように、たとえば、**1**、**2**のように大きく記載すること。
  - 大問3には、片面刷りの黒色解答用紙を用いること。大問3には複数の小問が含まれているが、小問の解答順序を変えてはならない。
  - すべての解答用紙に、氏名等の必要事項を漏れなく記入すること。大問3の黒色解答用紙の「日付」欄には、座席番号を記入すること。「評点」欄には何も記入しないこと。
- 7) 各問の配点は均一ではないため、解答にあたっては注意すること。全問正解の場合、合計得点は121点となる。得点に第14回授業の評価点（最高10点）を加えたものが各自の成績となる。ただし、100点を超える成績は100点とする。
- 8) 日本語を母語としない者は、その旨を各解答の冒頭に記載すること。
- 9) 諸君の検討を心より祈る。健康に気をつけて充実した夏休みを過ごされんことも。

（以 上）

\*\*\*\*\*

【大問1】 Yは、Aから建物を購入して引渡も受けたが、未だ所有権移転登記を行っていない。建物購入時から何度も移転登記を求めているにもかかわらず、Aが言を左右にして応じないためであり、Yは、このような状態で既に10年近く本件建物で生活している。

さて、Xは、本件建物はYが購入したものであることを十分熟知していたにもかかわらず、他の不動産取引のことでYとの間に争いがあり、Yに対して恨みを抱いていたことから、本件建物についてYが未だその所有権移転登記を了していないのを奇貨として、Yに対して復讐するつもりで、本件建物を自らが取得しようと計画した。

Aは、当初はXへの売却を拒絶していたが、Xから「もし訴訟になっても絶対に迷惑はかけない」と繰り返し懇願され、また、なにがしかの売却代金を得られることから、終にはXとの間で売買契約を結び、所有権移転登記も行った。なお、XA間の本件建物の売買価格は、市場価格の十分の一にも満たないものであった。

このような事案において、XのYに対する本件建物明渡請求の当否について論じなさい。

(50点)

【大問2】 正当な理由がないのに業務上知り得た患者の秘密を漏らした看護師に、秘密漏示罪（刑法134条1項）の成立を肯定することができるか。罪刑法定主義上の問題を踏まえた上で、私見を展開せよ。

(50点)

【大問3】 次の7つの小問に答えなさい。 (各3点、合計21点)

① 事実命題から当為命題を論理的に導くことはできないとする原理・法則を一般に何と呼ぶか。スコットランド出身の18世紀啓蒙哲学者であるその主唱者の名前を用いて答えよ。

② 極めて異例なことであるが、そのハーバード大学における政治哲学の講義が近時NHKテレビで連続放送され、また、『これからの「正義」の話をしよう』（早川書房）、『リベラリズムと正義の限界』（勁草書房）など、著書の邦訳も多数ある、現代アメリカの著名な政治哲学者は誰か。また、NHKテレビの放送では、その番組タイトルが「ハーバード〇〇教室」とされていた。〇〇に当てはまる熟語を答えよ。

③ 法の解釈の対象は実定法のみであるとし、いわゆる自然法の存在を認めない立場（主義）を何と呼ぶか。

④ 南野 森「憲法学と人権」法学セミナー641号（2008年5月号）12頁以下は、約20年前の日本社会が独特の雰囲気に含まれていたことを描き、はたして日本は表現の自由や思想の自由が十分に保障された自由な社会といえるのかどうかについて読者に考えさせることから始まる。そしてそのなかで、この独特な雰囲気を作り出した直接の要因は、ある著名な人物の病状が秋頃から年末にかけて深刻化し、年初にはついに彼が死去するに至るという一連の流れにあったとされている。この人物とは誰か。

⑤ 次の文章の空欄に入る人名を答えよ。

「今日的な違憲審査制は、憲法を最高法規として頂点におく国法のピラミッド構造の重要性を徹底的に考え抜いた  (1881-1973年) によって、オーストリア憲法（1920年）に導入されたのがはじめてである（以下略）」。

⑥ 相手方の主張する事実を認めることを、民事訴訟において何と言うか。また、相手方の主張する事実を争うことを、民事訴訟において何と言うか。

⑦ 刑事訴訟において、証明を必要とする事実（典型的には犯罪事実）について当事者による立証が尽くされた後、裁判所がその事実について法の要求する心証を得られなかった場合、不利益に判断される地位を何と言うか。